#### 【第2回】

# 横須賀港 浅海域保全・再生研究会

日時: 平成24年(2012年) 10月19日(金)

会場:横須賀市役所 消防局庁舎4F

災害対策本部室



横須賀市 港湾部

# 目 次

1.	第1回研究会での 主な意見とその対応・・・・・	3
2.	第1回研究会を踏まえたスケジュール・・	8
3.	浅海域利活用に向けた 横須賀港の課題・・・・・・	1C
4.		13 13 17
5.	5-1 現状のパブリックアクセスレベル・・・	18 19 22
6.	6-1 整理方法について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<mark>29</mark> 30

- 1. 第1回研究会での主な意見とその対応
- 2. 第1回研究会を踏まえたスケジュール
- 3. 浅海域利活用に向けた横須賀港の課題
- 4. 浅海域の利活用方法
- 5. 候補地について
- 6. 候補地選定のための データの整理方法について

# 1. 第1回研究会での主な意見とその対応(1)

分類	No.	意見等(概要)	考え方(対応方針)案
1. 検討	1	浅海域を保全することで、漁業者も水産資源の再生が図られ、市民も海に触れられるなど、両者にメリットがある海になるよう、場所の選定や工法、利活用を整理していくことがよい。 【今井委員】	市民や漁業者の方をはじめ、 <u>多くの方々の理解や協力が得られる</u> よう、委員の皆様のご意見を伺いながら、事業の目的や効果などを整理しながら、より良い方法を検討していきます。
検討内容について		どこまで環境保全や生き物を増 やすことを基点におくのか、明 確にしておく必要がある。 【堀口委員】	この事業は、市民や市外から来られる方々が <u>横須</u> <u>賀の海に親しんでいただける場を創出</u> し、将来に より良い海辺環境を引き継いでいくことを目的と しています。
	2		その中には、水質の改善、生態系の保全、交流人口の増加、地域経済の活性化などの要素があるほか、生き物の増加もその1つであり、 <u>指標(目標)的なものの必要性などについてもご意見を伺いたいと考えています</u> 。

## 1. 第1回研究会での主な意見とその対応(2)

分類	No.	意見等(概要)	考え方(対応方針)案
73790	3	横須賀港港湾環境計画に位置付けている再生・活生・共生の3つのエリアについて同時並行的に取り組むのか。または、優先順位を決めて進めるか。 【堀口委員】	計画では、再生・活生・共生と3つのエリアを設定していますが、 <u>優先的に取り組むエリアは決めていません</u> 。  整備の候補地については、各エリアの課題を把握するとともに、生物的・物理的条件や地域性など
1. 検討内容に	4	整備場所については、まずは再生・活生・共生の3つのエリアから1カ所1事業と考える中で場所や方向性の変更などをしながら、最短で進めるのがよい。 【古川委員】	を考慮して選定していきたいと考えています。 また、その際には、 <u>整備場所と利活用方法を併せ</u> て(一体的に)検討していきます。
2ついて	5	整備場所と利活用については、 分けずに一体として検討してい ただきたい。 【古川委員】	
	6	各地区で具体的な課題を抽出し、 どこからどのように進めていく か、選定のための方針を作って いただきたい。 【森委員】	

# 1. 第1回研究会での主な意見とその対応(3)

分類	No.	意見等(概要)	考え方(対応方針)案
2. データ敕	7	候補地の選定に必要な横須賀港 沿岸海域の諸データについて、 市はどの程度保有しているのか。 また、どのように収集していく のか。 【秋元委員】	水質、底質、生物など、 <u>横須賀港沿岸の関連する</u> と思われるデータについて「資料2」として整理しました。  また、一例として、 <u>底質調査結果について整理し、横須賀港周辺の藻場分布や漁業権区域、東京湾全</u>
整理について	8	ピンポイントの細かいデータだけでなく、過去から現在までの生態系アプローチを適用して、流域圏から湾口の外までの広範囲のデータを集めるのがよい。 【古川委員】	<u>体の水質・底質データについて「資料3」としてお示ししました</u> 。 他に必要なデータがあれば、委員の皆様からのご意見をいただきながら整理していく予定です。
3. スケジュールに	9	研究会・検討会での検討期間が 長い。自然を相手にすると当初 の設計から外れることがあるの で、PDCAサイクルの方法を とり、早い段階での具体的な取 り組みについて合意を得ながら 試していくことを提案したい。 【古川・森・今井各委員】	この研究会は、整備や利活用の方法などについて 次の検討会へ提案していく(方向性を示す)こと が目的です。 そのために、具体的な取り組みを試験的に実施す る必要があれば、委員の皆様のご意見を伺いなが ら検討していきたいと考えています。

# 1. 第1回研究会での主な意見とその対応(4)

分類	No.	意見等(概要)	考え方(対応方針)案
4 <sub>.</sub>	10	事務局には先進事例の視察を 行ってもらい、研究会で発表し てもらいたい。 【近藤委員長】	先進事例について、 <u>平成24年中もしくは平成25</u> 年度に事務局による視察を行う予定です。
研究会の進め方に		いずれは、環境そのものについてではなく、利活用や問題点について指摘をいただくようなアンケートを実施したい。 【近藤委員長】	利活用や整備の際の問題点などについて、 <u>平成</u> 26年度に市民などを対象としてアンケートを実 施したいと考えています。
ついて	12	共通認識を持つためにも、委員 による横須賀港の視察を行いた い。 【近藤委員長】	第4回の研究会の際に、 <u>横須賀港の視察を実施し</u> たいと考えています。

- 1. 第1回研究会での主な意見とその対応
- 2. 第1回研究会を踏まえたスケジュール
- 3. 浅海域利活用に向けた横須賀港の課題
- 4. 浅海域の利活用方法
- 5. 候補地について
- 6. 候補地選定のための データの整理方法について

### 2. スケジュール

平成24年度

平成25年度

#### 第1回研究会 (H24.7)

- 浅海域保全・再生の基本方針
- 今後の検討事項及び調査項目の抽出

#### 第2回研究会 (H24.10)

• 利活用方法及び整備候補地の概要説明

#### 第3回研究会 (H25.1)

- 整備候補地の特性整理・利活用方法の検討
- 工法の特性整理などの検討

#### 第4回研究会 (候補地視察)

- 整備場所及び整備方法の検討
- 財源の検討
- •モデル的・先行的事業の検討
- 検討会に向けた調査項目の抽出

#### 第5回研究会

• 各関係団体・地域の行動に関する検討

#### 第6回研究会

意見書、報告書の作成検討

#### 検討会の設置・開催

[モデル事業・先行的事業の実施(可能な場合)] (平成26~27年度)

・設計外力を踏まえた 構造・規模の検討

- 費用対効果の検討
- 施工方法の検討

平

成

26

年

度

以

降

- 行動計画の検討
- 環境モニタリング 計画の検討

市民アンケート調査

各種調査 (波浪、流況、水質、 底質、生物、漂砂等)

国への予算要求 (平成28年度)



事業着手 (平成29年度)

※ただし、H26以降については、研究 会の検討状況により柔軟に対応



- 1. 第1回研究会での主な意見とその対応
- 2. 今後のスケジュール
- 3. 浅海域利活用に向けた横須賀港の課題
- 4. 浅海域の利活用方法
- 5. 候補地について
- 6. 候補地選定のための データの整理方法について

## 3. 浅海域利活用に向けた横須賀港の課題(1)

### (1) 放置艇・不法係留

浦賀地区で顕著であり、手漕ぎボート等の放置が見られる。

ボートを降ろせる<mark>斜路がない</mark>ことも、 ボート放置につながっている。



浦賀地区における放置艇

#### (2) 釣り

釣り禁止区域において釣りを行う人が多数いる。<mark>釣りをする場所が欲しいという要望もある。</mark>



釣り禁止区域での釣りの状況

### 3. 浅海域利活用に向けた横須賀港の課題(2)

### (3) 海水浴場の海岸侵食

走水海岸では海岸侵食が発生し、このままでは海水浴場としての利用が 難しくなることが想定される。



走水海岸の侵食の現状

#### (4) 客船バース

大型客船の誘致では、水深の大きい 新港地区を利用しているが、ソーラ ス区域内となっていることから、入 港に際し多額の警備費が発生してい る。



新港ソーラス区域への客船入港



- 1. 第1回研究会での主な意見とその対応
- 2. 今後のスケジュール
- 3. 浅海域利活用に向けた横須賀港の課題
- 4. 浅海域の利活用方法
- 5. 候補地について
- 6. 候補地選定のための データの整理方法について

### 4-1 浅海域の利活用方法(1)

#### 浅海域の利活用の例

#### (1) 憩いの場

散策、休息、潮干狩りなど、市民や来訪者が海を身近に感じ、海に直接触れることができる「憩いの場」としての利用

### (2)環境学習・環境教育

海への興味・関心の向上のため、生き物観察会など、環境学習や環境教育、環境イベントなどの場としての利用

### (3)海の文化・漁業等の伝統的風習

海が生活の中(地域や漁業との関連)での 役割を果たしてきたことの理解を深めるため、伝統的な行事や風習などを活用した利 用



海辺での生き物観察



走水神社夏季例祭の様子 (走水神社公式ホームページより)

### 4-1 浅海域の利活用方法(2)

#### "集客"を図るために、利活用として望ましいもの

#### (4)海水浴

近隣の海水浴場は利用者が多く、そのポテンシャルが高いため、本市においても「海水浴」の場としての利用(右図)

#### (5) 潮干狩り

県内の潮干狩りスポットは、主に2ヵ所であり、横浜「海の公園」は利用者が多いことから、集客を期待した「潮干狩り」のできる場としての利用(右図)

### (6) 磯遊び

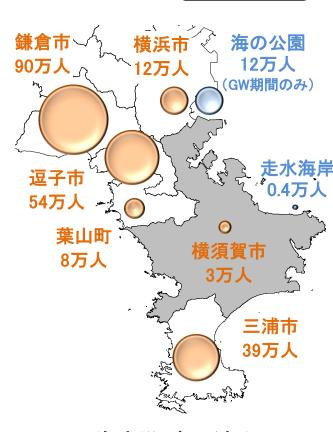
生き物の観察や生き物との触れ合いなど、 より海への興味・関心をもってもらえる 「磯遊び」の場としての利用

### (7) 各種イベント

ビーチバレー大会、コンサートなど、広い 海辺空間を利用した各種イベント会場とし ての利用







海水浴・潮干狩り 利用者数(H23)



### 4-1 浅海域の利活用方法(3)

#### その他、候補地の状況に応じた利活用

### (8) 防災機能

地域の防災・減災のため、広い空間を利用 した資材等の備蓄機能や災害時の物揚げ機 能としての利用

#### (9) 釣り

市民からの要望のある「釣り場所」として の利用

### (10) レストラン・売店

地域活性化や漁業振興のため、地産地消の レストラン・みやげ物店などを設置するこ とでの利用

### (11) マリーナ・客船バース

都会の海らしい雰囲気の創出とともに、放 置艇対策や客船バース確保などの課題に対 応する「マリーナ」や「客船バース」とし ての利用

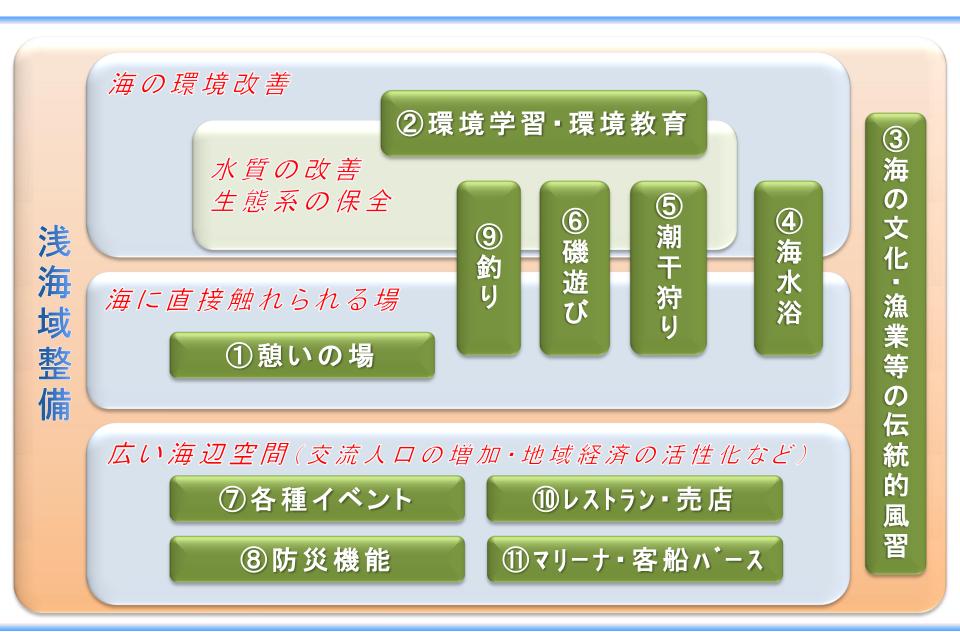


大森ふるさとの浜辺公園 の防災クレーン



新港地区での客船の停泊

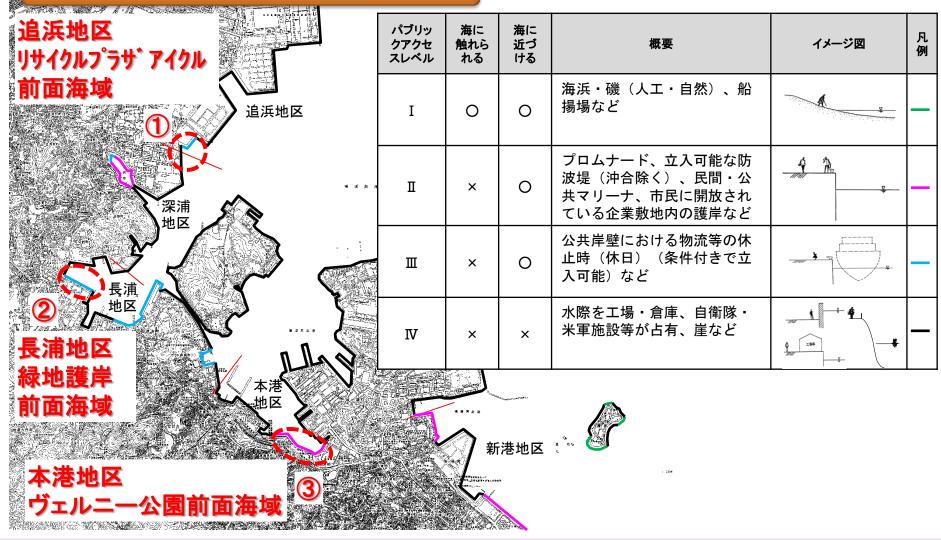
### 4-2 浅海域整備と利活用の関係



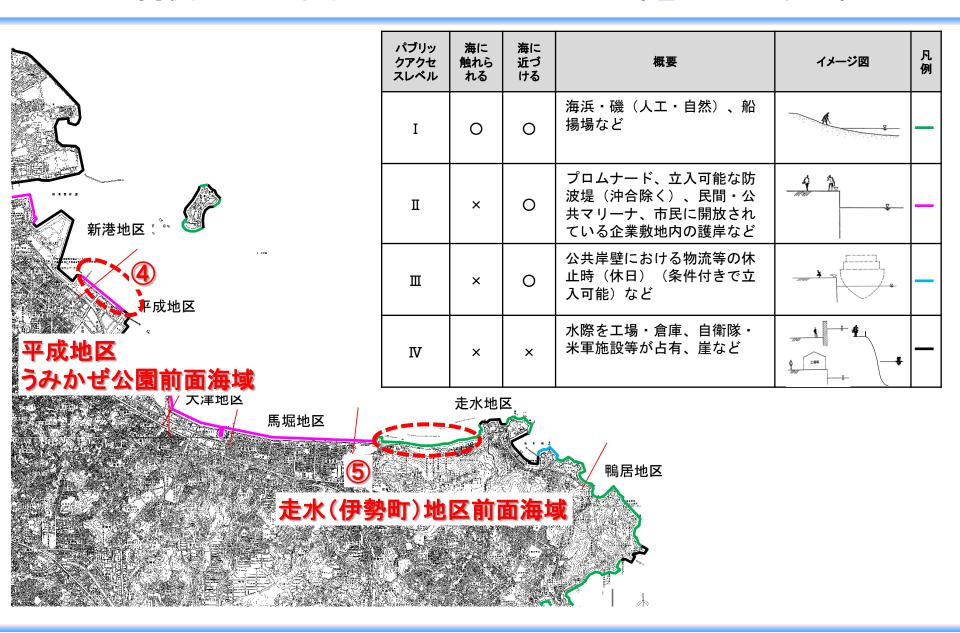
- 1. 第1回研究会での主な意見とその対応
- 2. 今後のスケジュール
- 3. 浅海域利活用に向けた横須賀港の課題
- 4. 浅海域の利活用方法
- 5. 候補地について
- 6. 候補地選定のための データの整理方法について

# 5-1 現状のパブリックアクセスレベル (再生のエリア)

市民・来訪者が利活用するためには、パブリックアクセスが確保されている必要がある



## 5-1 現状のパブリックアクセスレベル(活生のエリア)



# 5-1 現状のパブリックアクセスレベル(共生のエリア)

パブリッ クアクセ スレベル	海に 触れら れる	海に 近づ ける	概要	イメージ図	凡例
I	0	0	海浜・磯(人工・自然)、船 揚場など		_
П	×	0	プロムナード、立入可能な防 波堤(沖合除く)、民間・公 共マリーナ、市民に開放され ている企業敷地内の護岸など		
ш	×	0	公共岸壁における物流等の休 止時(休日)(条件付きで立 入可能)など	*	
IV	×	×	水際を工場・倉庫、自衛隊・ 米軍施設等が占有、崖など	\$ 246	_
				野比から	う津

### 5-2 候補地(1)

### (1) 追浜地区リサイクルプラザ アイクル前面海域





理由

- ・「海の市民会議」により試験的にアマモを移植した海域
- ・一般に環境の良くない北部地域に位置し、環境再生の必要性が高い
- ・港湾計画上、自然環境と共生するゾーンに位置付けている

課題

- ・鉄道駅から遠く、集客の観点からは難しい場所
- ・整備内容によっては防波機能が必要

1憩いの場	0	④海水浴	0	8防災	0
②環境学習	0	⑤潮干狩り	0	9釣り	0
③伝統的風習	0	6磯遊び	0	⑩レストラン等	0
		<b>⑦イベント</b>	0	⑪客船バース等	×(水深不足)

### 5-2 候補地(2)

#### (2)長浦地区緑地護岸前面海域





理由

- ・緑地整備の計画があり、緑地の整備と併せて浅海域を整備することにより、より魅力ある る海辺環境を作ることが可能
- ・一般に環境の良くない北部地域に位置し、閉鎖性水域のため環境再生の必要性が高い

課題

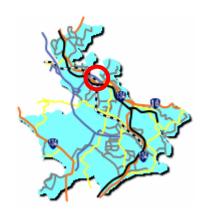
- ・大型船航路や泊地の確保が必要なため、浅海域の区域自体が狭隘
- ・現在の水際線から数mを除き、自衛隊や民有の敷地であるため、駐車場等の整備が困難 で、集客の観点からの検討が必要

1憩いの場	0	④海水浴	△(水域不足)	8防災	0
②環境学習	0	⑤潮干狩り	△(水域不足)	9釣り	0
③伝統的風習	0	⑥磯遊び	0	⑩レストラン等	0
		<b>⑦イベント</b>	△(水域不足)	①客船バース等	×(水深不足)

### 5-2 候補地(3)

### (3) 本港地区ヴェルニー公園前面海域





理由

- ・米軍や自衛隊の基地が間近で、横須賀らしい景観であるとともに、「うみかぜの路」の 経路に隣接し、アクセスも良いため集客の期待
- ・背後のヴェルニー公園と一体的に利活用可能
- ・一般に環境の良くない北部地域に位置し、閉鎖性水域のため環境再生の必要性が高い

課題

- ・大型船航路や泊地の確保が必要なため、浅海域の区域自体が狭隘
- ・吹き寄せにより漂流物が多く集まる場所であり、維持管理が困難
- ・米海軍との調整が難航する懸念

①憩いの場	0	④海水浴	△(水域不足)	8防災	0
②環境学習	0	⑤潮干狩り	△(水域不足)	9釣り	0
③伝統的風習	0	6磯遊び	0	⑩レストラン等	0
		<b>⑦イベント</b>	0	⑪客船バース等	×(水深不足)

### 5-2 候補地(4)

#### (4) 平成地区うみかぜ公園前面海域





理由

- ・市内で最も交流がある地域で、集客の期待
- ・背後のうみかぜ公園と一体的に利活用可能
- ・港湾計画上、自然環境と共生するゾーンに位置付け

課題

- ・水深が深く、閉鎖性が低いため、防波機能や護岸機能(外郭施設)が必要
- ・集客に力を注ぐ地区であり、客船誘致のための岸壁整備、防災対策上の耐震強化岸壁の整備等も検討の必要あり(一体的に整備すると、開発的な行為とみなされ、環境再生とは目的がずれる可能性)

①憩いの場	0	④海水浴	0	8防災	0
②環境学習	0	⑤潮干狩り	0	9釣り	0
③伝統的風習	0	⑥磯遊び	0	⑩レストラン等	0
		<b>⑦イベント</b>	0	⑪客船バース等	O

### 5-2 候補地(5)

### (5) 走水(伊勢町) 地区前面海域





理由

- ・侵食が発生し、浅海域である砂浜を保全していくことが必要
- ・車や鉄道でのアクセスが良好であり集客が期待できるとともに、水域は比較的浅いため 事業費が抑えられる可能性があり、費用対効果の期待
- ・港湾計画では海浜の計画、自然環境と共生するゾーンに位置付け

課題

- ・海岸侵食が発生するなど、波浪条件が厳しいことから、防波機能が必要
- ・現在も環境としては比較的良好であるため、環境対策としての効果は疑問

1憩いの場	0	④海水浴	0	8防災	0
②環境学習	0	⑤潮干狩り	0	9釣り	0
③伝統的風習	0	⑥磯遊び	0	⑩レストラン等	0
		<b>⑦イベント</b>	0	⑪客船バース等	×(水深不足)

### 5-2 候補地(6)

### (6) 浦賀地区住重護岸前面海域





理由

- ・浦賀駅から続くプロムナード先(整備中)に位置し、燈明堂海岸と隣接することから、 良好な海辺環境、景勝地等によりある程度の集客の期待
- ・砂浜や人工的な斜路を整備することにより、浦賀港内での放置艇対策が可能
- ・港湾計画では海浜の計画、自然環境と共生するゾーンに位置付け

課題

- ・鉄道駅から離れており、公共交通機関での利用が現段階では困難
- ・背後地の開発状況に合わせて整備する必要がある
- ・環境としては比較的良好であるため、環境対策としての効果が現れにくい

①憩いの場	0	④海水浴	0	8防災	0
②環境学習	0	⑤潮干狩り	0	9釣り	0
③伝統的風習	0	6磯遊び	0	⑩レストラン等	0
		<b>⑦イベント</b>	0	⑪客船バース等	×(水深不足)

### 5-2 候補地(7)

### (7) 久里浜(長瀬) 地区前面海域





理由

- ・背後の道路に波が打ちあがる等の被害があるため、浅海域整備が越波対策に有効
- ・市街地に近いため、集客の見込みあり
- ・港湾計画では緑地整備の計画、自然環境と共生するゾーンに位置付け

課題

・港内であるため、船舶の航路や泊地の確保が必要

1憩いの場	0	④海水浴	0	8防災	0
②環境学習	0	⑤潮干狩り	0	9釣り	0
③伝統的風習	0	6磯遊び	0	⑩レストラン等	0
		<b>⑦イベント</b>	0	①客船バース等	×(水深不足)

- 1. 第1回研究会での主な意見とその対応
- 2. 今後のスケジュール
- 3. 浅海域利活用に向けた横須賀港の課題
- 4. 浅海域の利活用方法
- 5. 候補地について
- 6. 候補地選定のための データの整理方法について

# 6-1 整理方法について(1)

	項目(例)〇〇前面海域					
概要	周辺状況	地域の主な産業 : 漁業(遊魚含む) 主な魚種(イワシ、ノリ、ワカメ等) 海岸の背後地域には特産の〇〇を取扱う店舗や食事処が点在。その他は民家が主。				
環境特性	水質 (近隣データよ り)	【H6】COD=Omg/l (< 2mg/l≪水産用水基準≫) 【H6】DO=Omg/l (> 7.5mg/l≪水産用水基準≫) 1900年と比べて改善				
	底質 (近隣データよ り)	【H6】COD=Omg/g (< 20mg/g≪水産用水基準≫) 【H6】全硫化物=Omg/g (> 0.2mg/g≪水産用水基準≫) 19○○年と比べて悪化				
	生物 (近隣データよ り)	【H6】魚卵(種類数二〇、個体数二〇) 【H6】稚仔魚(種類数二〇、個体数二〇) 【H6】底生生物(種類数二〇、個体数二〇) 【H6】付着・砂浜生物(出現頻度二〇%) 【H5,H15】藻場:ガラモ場、アマモ場が点在 19〇〇年と比べて生物数は減少、藻場は変わらず				
	海底地形	水深帯 〇~〇m 海底勾配 1/〇程度				
	その他	東京湾湾奥部の海水が南下し、一時的に水質が悪化することがある				
外力特性	波浪	設計波浪(50年確率波):H=Om 年数回波:H=Om				
	流況	強流時 Om/s程度 平均流 Om/s程度				
	その他	背後地への越波が発生している 海岸侵食が発生している				
社会特性	アクセス	鉄道駅(京浜急行電鉄 OO駅)から Okm 高速道路 I C (横浜横須賀道路 横須賀 I C) から Okm 幹線道路(国道16号)から Okm 周辺の駐車場は少ない				

# 6-1 整理方法について(2)

分	類	項目	(例)〇〇前面海域							
		人流	漁業・遊魚がさかんであり、多くの釣り客が近隣に来訪 「うみかぜの路」に位置しているが、車での来訪が主であり、駐車場の制限等から、 来訪者はそれほど多くない							
社会特性	海域利用	共同漁業権が設定されており、〇〇の漁業が主に営まれている								
	観光資源	〇〇美術館(現地からOkm)         〇〇温泉(現地からOkm)         桜の名所(現地からOkm)								
	文化・風習	○○祭礼:2年に1度、海岸や海において神社の祭礼がある								
		その他	近隣の水域を船舶が航行するため、浅海域としての領域を広くとれない							
到活田	利活用方法	①憩いの場	0	④海水浴	0	⑧防災	×			
		②環境学習	0	⑤潮干狩り	0	9釣り	0			
利活用			③伝統的風習	0	⑥磯遊び	0	⑩レストラン等	×		
					<b>711</b> 71	×	⑪客船バース等	×		
		整備方法	覆砂による砂浜造成、 磯場							
整	整備	概算事業費	〇〇〇百万円							
		財源	○○○整備事業(国庫補助)							
評 価 -	コメント	海域環境に対して浅海域整備の効果が高そう 海水浴の利用ができ、集客が期待できる 地域ならびに公共交通機関の協力が必要								
	評価									
	優先度	1								

### 6-2 ご意見をいただきたい点

- 1. 第1回研究会での意見への対応及びスケジュールについて
  - ・第1回研究会でいただいた意見等に対する考え方の確認
  - ・全体的なスケジュールの確認
  - ・モデル的・先行的事業の必要性 … など
- 2. 他の利活用方法・候補地の有無について
- 3. データの整理方法について
  - ・現地調査データの整理方法
  - ・他に必要な項目
  - ・現地状況、地域特性等の情報整理の具体的方法 … など

